

207

八  
令  
達  
報  
告  
別  
紙

8415

2169



◎敵機ニ對スル誘導信辦法

利敵行爲者ノ創意工夫ニ依リ一様ナラザルモ現在夜間ニ於ケル火（光）  
箭信號、晝間ニアリテ、發煙等ハ局知ノ尋例ナルガ最近ノ情報面ヨリ  
檢討スレバ左ノ二種類アリ

一、夜間ニ於ケル險蔽法

密集建造物地帯或ハ叢生地等ニ於キテ部外者ヨリ感知セラレザル様竹  
筒又ハ圓錐型金板類ヲ用ヒ（高サ約一米一（一米半）底部ニ光ヲ點ジ敵  
機直上空ニ到達シタル際重要物件ノ確位ヲ明示スルモノナリ之ガ成果  
ハ別トシテ犯行者ノ狙ヒハ

イ、自体ノ秘匿

ロ、投擲ニヨル危險排除

ハ、爆風振動ヨリ燃燒物ヘノ誘發

等ニシテ密集市街地ニアリテハ將來多發ノ懸念アリ注視警戒スベキナ  
リ

ニ、晝間ニ於ケル反射鏡（陽光ヲ利用スルモノ）

去ル一月二十七日「ケ」州「ム」ダラシ「發」電源地帯ヲ空襲シタ  
ル際行ハレタルモノニシテ本島トシテハ注目ス可キ新手段ナリ

261.

本方法モ亦將來各方面ニ多發サレルモノトシテ警視ヲ要スルナリ

◎狩獵ヲ裝フ地方官吏

地方原住民高級官吏一部間ニ(東印瓜哇地區)最近狩獵ト稱シ山野ヲ歩行スル者アリ孰レモ二、三名ノ供ヲ同行シアルハ時局柄注視ヲ要スルナリ

勿論之等ハ意ノ如ク躊躇シ得ル立場上自己ノ對策行爲ヲ實現スル機會

多ク又通敵行爲者釀成ノ氣運濃厚ナリ

主ナル地域ヲ示セバ

イ、一、パシヤノ山城(スバヤ州下)

ロ、一、パシヤノ山附近(スバヤ州下)

◎離海行動容疑

瓜哇沿岸(密偵報)

イ、一、パシヤノ山附近

一月十五日ヨリ二十日ニ至ル間彼我判明セザル潜水艦出沒ヲ陸上ヨリ望見セリト尙陸上ニ若干名ノインドネシア。印蘭人(兵補同)

横服裝(視メラレタリト)

ロ、一、パシヤノ山附近

一月十日二二〇頃沖合ヨリ發砲聲聽ケルモ原因不明ナリ

ハ、一、照燈

一月初旬一ラセム北方海上ニ光芒ヲ見セルモ彼我不明ニシテ

敵潛行動トモ判断サル

南部海岸地區  
一月二十七日「ケヂリ」州「ジロロストロ」見張所東方海上ニ小時間浮  
上セルヲ目撃セリ

一月十二日夜「タンジユンブミ」村附近ニ赤電燈ヲ點火セル艦船ヲシ  
キモノガ接岸セストシタルモ船影ハ海中ニ没シタルカ波音モ燈火モ消

減セリト  
◎人民戦線派機關誌「赤イ塔」  
舊政權兼官時ヨリ反フアシヨ團體人民戦線派機關誌トシテ議ラレタル「赤  
イ塔」ムナシ。ムラハ近時隱密裡ニ「マラン」州下某所滞在不穩  
分子派ニ依リ再登サレアルガ如シ  
主筆者ハ爪哇人（姓名在部）ナルガ反日的思想分子各層男女ヨリ混成サ  
レアルニ注目ス可キナリ

（反日分子ト駄ス可キハ戦前本國ニ留學シ歸島シタル者多シ）  
機關誌編輯ハ爪哇、支那、アジヤ人等ヨリナリ内容モ又終始反日言論  
ニ彩ラレ主導者ノ手記ハ最も鮮明ナルモノト謂ハム  
目下「スシバヤ」地區民衆ヲ從惑シアリ敵國謀略派分子ト脈連一貫シ一  
大活動期ニ進マントスル傾向アリ成行ニ對シ深甚ナル監視ヲ要スルナリ

各地綜合情報  
「スシバヤ」州下

イ、一月二十一日、一列車衝突事故

セル列直トガ衝突事故ヲ生ゼリ原因ハ機關士一印蘭人ト轉徹係

ノ職務怠慢ニヨル

空襲下ニテテオ一盗難容疑

一月十四日夜空襲令下一ン部長宅ヨリ一ラテオ一ラシキ

能ナル状況ニアリ日本人官憲ノ眼ヲ盗ミ海外放送盜取容疑濃厚ナ

アリ因ミニ附近住民ヨリ無封印一ラテオ一所有者檢舉サレタル事例

ハ、反日分子ノ懸

信スル勿レ勿論東印度獨立モアテニスルナト

同村一支那人ハ

吾々支那人ハ今次大東亞戰ニ重禱ス可キヤ否ヤ否ナリト思考ス

又差橋警防隊ハ爪哇防衛ニ協力ス可キヤ否爪哇ハ吾々ノ郷土ニモ

非ズ祖國ニモ非ズ

同村一爪哇人(多クハ下級徒)ハ

今次戦争ハ一ア多クハ一ノ勝利ナラン一ア多クハ一ハ富國ナリ

イ、一月十四日夜空襲警報下所内業務書類ヲ寫取シ燒却中ヲ發見サレ

逮捕サレ

本名ハ一ブロン一驛工長時代ヨリ工具窃取、鐵道事故主導者トシ

テ動向監視中ナリシ者ナリ

一月八日興亞祭營日祝典費トシテ一〇〇圓ヲ受領セルモ之ヲ自己

掌中ニ收メタリ

又衣料配給ニ際シテモ不正ヲ働キ村民ノ非難スルトコロナリ

一、パナイ州下

一、若シモ爪哇島ニ聯合國軍ガ上陸シタラ吾々ハ日本軍ニ反抗セシ

ト

之等不穩思想ヲ抱ク者ハ大半地方原住民官吏ノ子弟ナリト

元破壤團(AVC)員ノ近況

一、パナイ一附近ニ於ケル元團員ノ動向ヲ觀ルニ州。縣役所吏(職)

員トシテ勤務シアルガ敵撃滅ニ對スル熱度稀薄ナリ寧口計

實行爲ニ基クガ如キ標相ヲ呈シアリ動向嚴密中

四、一、大團長ノ動向(トウバン)

防衛義勇軍ノ眞意ヲ了解セス部下將兵ノ心情ヲ低下セシムルガ如キ

傾向ニアリ北海岸ノ重要堡ニ鑑ミ敵謀ノ跳梁モ亦容易ニ豫測サルルト

260

英一ケ子州下  
イ、ケ子州下  
僑林譽養ノ反日態度（フシ）  
暑暑務所員ガ熱心ニ時局意識ヲ表明スルト之ヲ嫌悪シ不遜ナル態  
度ヲ示セリ

又工具ノ補給困難ヲ口ニシテ仕業ヲ遲滞セシメ日本ニ協力スル必  
要ナシト明ニ親戚思想ヲ口外セリ

口、南部地區一パン子「多」教徒  
各層ヨリ成ル教徒ハ宗教擁護ヲ愛唱シ反日的行動ノ擧ニアル一  
那人ハ一アン「ン」人ヲ向行シ各村落ヲ巡廻シ宗教宣布ニ努メアル  
モ裏面ハ聯合軍ノ宣傳の手先ト思料スルモ妥當ナリ

六、イ、ジ「ツ」教徒  
「シ」ト「ツ」附近一カト「ツ」  
ノ大替ニ依リ平聲ヲ裝ヒアルモ裏面ニ於ケル秘密的反日行爲ハ新  
舊何ラ變ラザルモノトサル  
之ガ證明ハ多大ノ金錢ガ寄附サレ聞ヨリ聞ヘ利用サレアルヲ以テ  
知ラル

口、英語教授  
一、シ「ツ」市内某學校教師ハ（未詳）最近上級生ニ對シテ  
別科目ト稱シ英語ヲ教授シアリト謂ハレルモ詳細目下調査中

七、イ、ス「マ」州  
僑民「マ」州所持セル支那人

260

一月下旬一スマオン市内原住民旅館止宿中一支那人ハ海軍要員ト稱シ偽證明書ヲ通ラ所持シ西中部地區ヲ徘徊セル者ニシテ各驛ニ於ケル原住民官憲ヲ欺瞞シアルモノトシテ取調中

半島出身僱員ノ不詳事件

一月初旬一アソベニツ敵國人抑留所監視半島人銃(武)器ヲ盜取日當將兵ニ傷害ヲ負ハシメタリ之ガ動機ハ嚴正職務ノ冒險規律ヲ忌ミタル爲トサレル各部隊ニ於ケル銃(武)器彈藥取締嚴重ヲ要望ス

ハ、マ、ド、ラ、州、下

敵艦容疑探照燈一スダスツプ海崖

一月十七日空襲時中西方海面ニ於キテ強高度點波信號照射サレ同町内ヲ皓々ト照明シタル故住民ハ非常ニ恐怖心ヲ懷キ神業ト布言セ

ロ、

一アソベオン海崖朝船漂着

一月十八日一五〇時頃附近海岸ニ坐礁シタル一帆船アルモ船員ノ乗組ナシ同村字長ノ言ニ從ヘバ

一昨夜半敵艦十内外海上ニ着水セルガ如シト船員ノ行方不明ニテ目下調査中



機密第三十一特別根據地隊命令第二五號

昭和二十年二月十一日

軍極秘

第三十一特別根據地隊司令官田中菊松

第三十一特別根據地隊命令

一 第三警備隊司令官第百二海軍施設部「ハリ」施設隊長ヲシテ機密第三南遣艦隊命令特第四號

二 依ル十二種平射砲ニ門ノ砲台施設ヲ口ニ見張所

下方高地ニ構築セシムベシ

三 裝備砲ノ輸送準備及据付作業ニ関シテハ第百二

海軍工作部長協力ス

三 砲据付開始ヲ三月初頭ト予定ス

(終)

2177

機密第一警備部隊命令作第4號

昭和二十年二月十四日

軍極秘

第一警備部隊指揮官田中菊松

第一警備部隊命令

昭和十九年機密第一警備部隊命令作  
第八號別圖ヲ別圖ニ通改ム

(註)機密第一警備部隊命令作第八號別圖

八燒却

終

265

2178

Do not feel...

機密南西方面艦隊命令第二一號

昭和十七年十二月二十三日 スラバヤ海軍本部

軍極秘

南西方面艦隊司令長官 高須四郎

南西方面艦隊命令

一 第三氣象隊長ハ、クリスマス島ニ氣象観測所ヲ設置

スベシ

右観測所ハ之ヲ第三氣象隊本隊ニ附属セシム

ニ前號観測所ノ施設諸給與醫務等ニ關スル

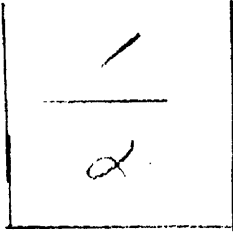

介務ハ第二南遣艦隊機密第七二四番電ニ依リ處理

スベシ

(封印)

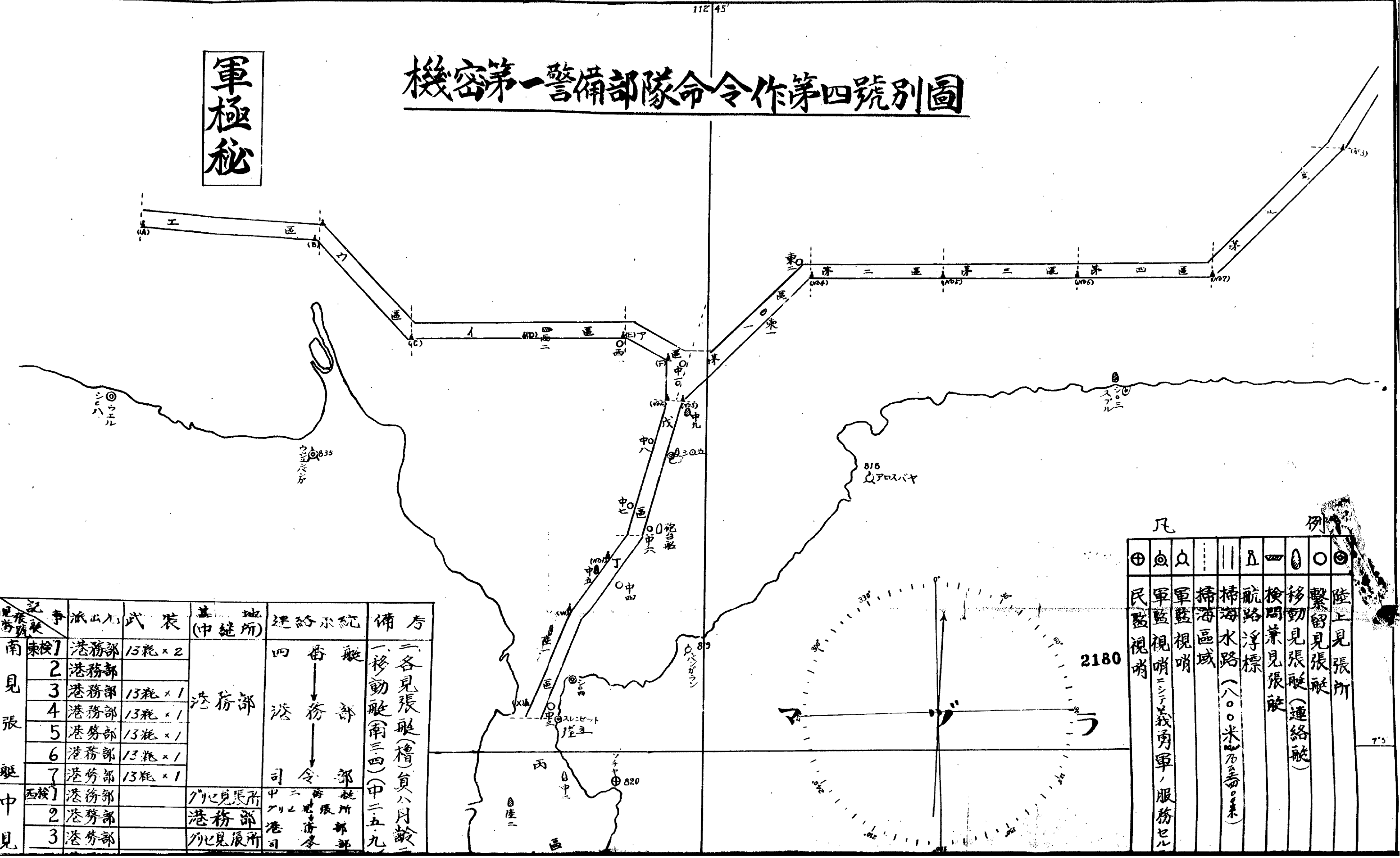
2179

# 分割撮影ターゲット

|  |   |
|--|---|
| 分割した<br>部分の撮<br>影順序  |  |
| 分割撮影<br>した<br>理由   | A3判以上のため  |
| <p>上記のとおり分割撮影したことを<br/>証明する</p> <p>61年 8月16日</p> <p>主務者又は<br/>撮影立会者 金沢悦夫 </p> |   |

軍極秘

# 機密第一警備部隊命令作第四號別圖

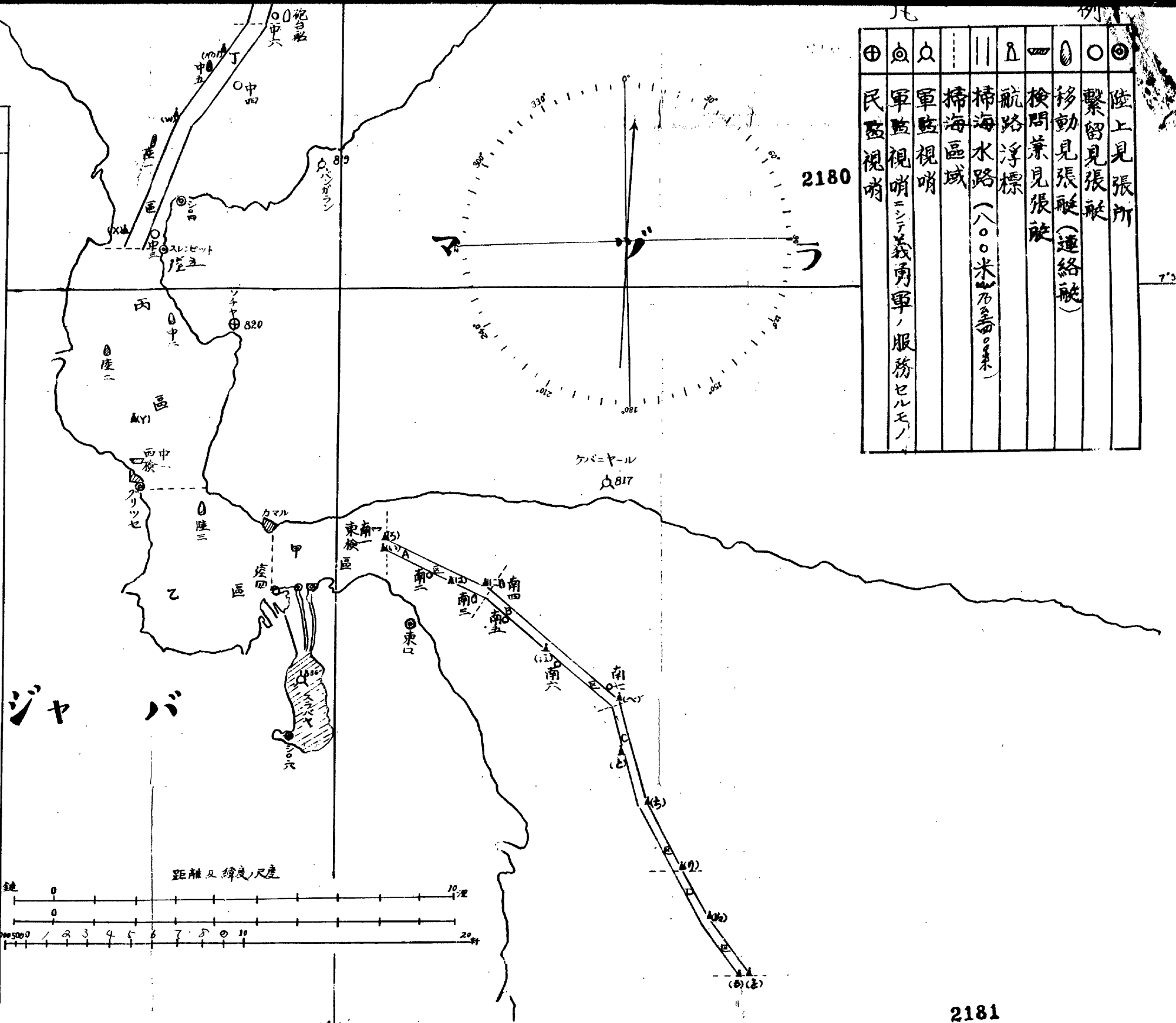


| 記号   | 事   | 出入  | 武装    | 基地 (中継所) | 連絡系統                        | 備考                                 |
|------|-----|-----|-------|----------|-----------------------------|------------------------------------|
| 南見張艇 | 東檢1 | 港務部 | 13艇×2 | 港務部      | 四番艇<br>↓<br>港務部<br>↓<br>司令部 | 一、各見張艇(槽)負八月齡二<br>二、移動艇(南三四)(中二五九) |
|      | 2   | 港務部 |       |          |                             |                                    |
|      | 3   | 港務部 | 13艇×1 |          |                             |                                    |
|      | 4   | 港務部 | 13艇×1 |          |                             |                                    |
|      | 5   | 港務部 | 13艇×1 |          |                             |                                    |
|      | 6   | 港務部 | 13艇×1 |          |                             |                                    |
|      | 7   | 港務部 | 13艇×1 |          |                             |                                    |
| 中見   | 西檢1 | 港務部 |       | クハ見張所    | 中二番艇所<br>中三番艇所<br>港務部       |                                    |
|      | 2   | 港務部 |       | 港務部      |                             |                                    |
|      | 3   | 港務部 |       | クハ見張所    |                             |                                    |

凡例

|      |      |      |      |                   |      |        |             |       |
|------|------|------|------|-------------------|------|--------|-------------|-------|
| ⊕    | ⊙    | ○    | ⋮    |                   | ≡    | —      | ○           | ⊙     |
| 民監視哨 | 軍監視哨 | 軍監視哨 | 掃海區域 | 掃海水路 (八〇〇米乃至五〇〇米) | 航路浮標 | 検問兼見張艇 | 移動見張艇 (連絡艇) | 陸上見張所 |

| 見張船       | 航路  | 武装                 | 基地(中継所)  | 連絡系統  | 備考  |
|-----------|-----|--------------------|----------|---|---|
| 南見張艇      | 東航1 | 港務部 13艇×2          | 港務部      | 四番艇<br>↓<br>港務部<br>↓<br>司令部   | 一各見張艇(積負八月齡ニヨリ朔ヲ経テ月齡ハニ至ル毎夜間(自日出)配負スベシ)<br>二移動艇南三四(中二五九)ハ夜間防空警戒報發令時直ニ所定位置ニ枕クベシ |
|           | 2   | 港務部                |          |   |   |
|           | 3   | 港務部 13艇×1          |          |   |   |
|           | 4   | 港務部 13艇×1          |          |   |   |
|           | 5   | 港務部 13艇×1          |          |   |   |
|           | 6   | 港務部 13艇×1          |          |   |   |
|           | 7   | 港務部 13艇×1          |          |   |   |
| 中見張艇      | 西航1 | 港務部                | グロビ見張所   | 中二番艇<br>↓<br>港務部<br>↓<br>司令部<br>↓<br>中九番艇<br>↓<br>司令部<br>↓<br>中二番艇<br>↓<br>港務部<br>↓<br>司令部<br>(陸軍見張ト連絡ハ所要ノ時ニ) |   |
|           | 2   | 港務部                | 港務部      |   |   |
|           | 3   | 港務部                | グロビ見張所   |   |   |
|           | 4   | 港務部                | シ五見張所    |   |   |
|           | 5   | 水警隊                |          |   |   |
|           | 6   | 二一艇                | 八砲台      |   |   |
|           | 7   | 港務部                |          |   |   |
|           | 8   | 港務部                | シ五見張所    |   |   |
|           | 9   | 水警隊                |          |   |   |
|           | 10  | 港務部 23艇×1<br>13艇×1 |          |   |   |
| 陸軍中見張艇(所) | 1   | 陸(砲)               | 陸軍<br>砲台 | 中二番艇<br>↓<br>港務部<br>↓<br>司令部<br>(陸軍見張ト連絡ハ所要ノ時ニ)   |   |
|           | 2   | 陸(砲)               |          |   |   |
|           | 3   | 陸(砲)               |          |   |   |
|           | 4   | 北岸頭砲台              |          |   |   |
|           | 5   | 北岸頭砲台              |          |   |   |
|           | 6   | 附近陸上               |          |   |   |
| 東見張艇      | 1   | 港務部 13艇×1          | シ五見張所    | 司令部   |   |
|           | 2   |                    |          |   |   |
| 西見張艇      | 1   | 港務部 13艇×2          | シ五見張所    | 中九番艇<br>↓<br>司令部  |   |
|           | 2   | 港務部 20艇×2<br>探照灯×1 |          |   |   |



|      |                   |      |      |                       |      |        |            |
|------|-------------------|------|------|-----------------------|------|--------|------------|
| ⊕    | ⊙                 | △    |      |                       | △    | ○      | ⊙          |
| 民監視哨 | 軍監視哨ニシテ義勇軍ノ服務セルモノ | 軍監視哨 | 掃海區域 | 掃海水路(ハ。〇。米。乃。乃。番。〇。米) | 航路浮標 | 検問兼見張艇 | 移動見張艇(連絡艇) |
|      |                   |      |      |                       |      |        | 繫留見張艇      |
|      |                   |      |      |                       |      |        | 陸上見張所      |

2180

2181

267

機密第三特別根據地隊命令第三六號

昭和二十年二月十四日

軍極秘

第三特別根據地隊司令官 田中菊松

第三特別根據地隊命令

内務長ハ左ノ應急工作ヲ緊急要員施スヘシ

一 工作品名

廿五耗單裝億機銃(架台共)

二 基

二 要

件

概ネ一〇〇米ノ高度ノ敵對シ直機銃ニ擬シ得ルヲ要ス

三 工作奔動日時

昭和二十年二月十五日 〇九三〇

四 第四分隊長ハ工作ニ協力スモトス

五 完成品ハ日取近便ニ依リ七〇ニ部隊ニ引渡スモトス

(終)

2182

機密第三十一特別根據地隊命令第二八號

昭和二十年二月十五日

第三十一特別根據地隊司令官田中一菊松

軍極秘

第三十一特別根據地隊命令

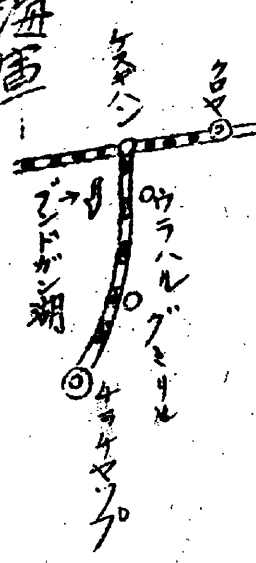
一水上機隊指揮官ハ時機ヲ得次第左ノ湖ヲ調査  
シ零式水上偵察機ハ退避基地及攻撃基地トシテノ價  
値ヲ報告スベシ

バニエマス州 ブンドガン湖

(位置下圖)

ニ、カラケマツコ介遣隊長及第百ニ海軍  
施設部ヨシマカシカシカ施設隊長ハ調査ニ協力スベシ

(終)





機密第一警備部隊命令作第五號

昭和二十年二月十八日

第一警備部隊指揮官 田中菊松

40  
60

2184

2185

昭和二十年二月十八日

第三特別根拠地隊司令部

別紙第一、後送ス

符 紙

隊命令

及潜水艦、哨戒状況、  
機密ニ搜索シ我海上輸

海員施中ナリ

三、當部隊ハ敵ノ不意ニ乘ジ陸軍海兵團別示兵力

ヲ又ヨリヨ、迄急速輸送セムトス

第七飛行師團長指揮下戦闘機十機之協力

ス

269

機密第一警備部隊命令作第五號

昭和二十年二月十八日

第一警備部隊指揮官 田中菊松

軍機

第一警備部隊命令

一 小スンダ方面ニ対スル敵機及潜水艦ノ哨戒狀況ハ別示ノ通ニシテ艦船ヲ綿密ニ搜索シ我海上輸送ノ遮断ニ努メツツアリ

二 陸軍ハ第十號作戰ヲ妥員施中ナリ

三 當部隊ハ敵ノ不意ニ乘ジ陸軍海兵團別示兵力ヲ又ヨリヨ迄急速輸送セムトス

第七飛行師團長指揮下戦闘機十機之協力ス

269

40/50

2184

2185

四 本作戦ヲ第二號作戦ト呼稱ス  
兵力部署ヲ左ノ通定ム

|       |                 |     |         |
|-------|-----------------|-----|---------|
| 部隊名   | 指揮官             | 兵力  | 主要任務    |
| 挺身輸送隊 | 雁艇長 雁 W11       | W12 | 別示兵力ノ輸送 |
| 水上機隊  | 水上機隊指揮官 水上機隊ノ一部 | W34 | 警戒      |

五 挺身輸送隊ハ左ニ依リ行動スベシ

イ 又突入ヲ×日 日没後約一時間トシ×日ハ別令ス

突入時刻ハ敵情ニ據リ挺身輸送隊指揮官機

宜変更スルコトヲ得

ロ 又ニ於ケル揚塔時間ヲ最大ニ時間半トス

ハ 行動標準及泊地ヲ別紙第一及第二ノ通定

六 水上機隊ハ一時基地ヲ⑦ニ進出シ挺身輸送隊

対潜警戒ニ任ズベシ

七 通信ニ関シ別紙第三ノ通定ム

八 出撃後補給セザルヲ建前トスルモ豫メ㊦ニC百艇

五ノ五十艇ヲ準備ス

九 被害時ノ處置標準左ノ外挺身輸送隊指揮官

ノ所信ニ任ス

一 三隻行動可能ナル場合ハ概ネ計画通断行ス

二 二隻行動可能ナル場合ハ㊦ニ於テ各艇約二百

名宛ノ人員ヲ揚陸ス

十 各艇出撃前左ノ準備ヲ完成スベシ

イ 陸兵五百名ニ日分ノ糧食

ロ 艇首両舷ニ隨時標示シ得ル帆布製ニ米

平方ノ艦船番號符

ハニ  
反  
製  
製  
便  
所  
四  
四  
適  
宜

(終)

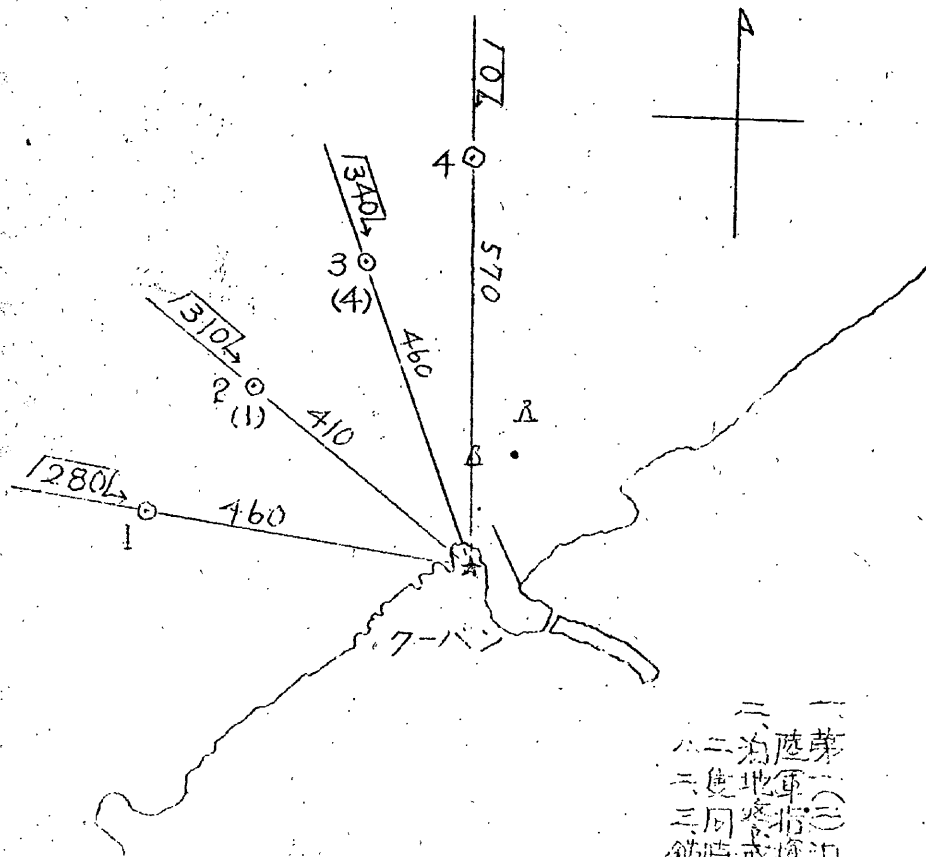
2188

271

軍機

第一泊地

機密第一警備部隊命令作第5號列紙第一



(海圖943號同尺度)

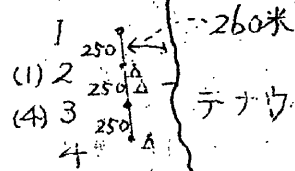
一、第一泊地ノ決定ハ  
 陸軍指揮官トス  
 二、泊地ニテモテ實施ノ場  
 三、同時揚陸ノ場  
 四、三隻同地ヲ使用ス

8815

2189

第二泊地

セマウ



チモール

(海圖の43號同尺度)

2190

272

# 別紙第三

## 第二號作戰通信要領

第一號言備部隊作戰通信計畫(十九年機密)部命令作第二號)及機密第一號部隊命令作第一號  
 係外左通定ハ  
 一 所屬通信系  
 209及309電信所地方艦所通信系ト其出入時刻ハ  
 挺身輸送隊指揮官所定トス

## 二 無線電誌

不 挺身輸送隊内通信暗號書ヲアケニトス  
 四 通誌系由號ヲ左通定ハ

| 通誌番號 | 部隊名 | 雅 | 挺身輸送隊全般 |
|------|-----|---|---------|
| 二 秘留 | W11 |   |         |
| 二 秘留 | W12 |   |         |
| 三 秘留 | W34 |   |         |
| 四 秘留 |     |   |         |
| 0    |     |   |         |



三、呼出符號甲ニ左ヲ加フ

部隊名 挺身隊 指揮官 同輸送隊

雁

W 34

呼出符號 フト四 フト五 フト七 フト七

四、艦艇ヨリ敵艦來襲方角ヲ陸軍機ニ速報スル規約

ヲ左ノ通定ム

イ、Q 旗一疏全揚

ロ、敵秒間煙幕ヲ展張ス

ハ、全備砲ヲ敵艦ニ向首シ西セスル奔砲ス

五、艦艇陸上間規約信号ヲ左ノ通定ム

|         |    |                 |     |
|---------|----|-----------------|-----|
| 夜       | 間晝 | 間信              | 文   |
| ① 青 一 青 | 日  | 陸軍用機(ハ) 投錨セヨ(又) |     |
| ② 赤 一 赤 | 日  | 第三(チオウ)カ        | (カ) |
| ③ 赤 一 青 | 日  | 警告前警告報          |     |

273

|         |         |         |         |     |        |             |             |        |             |              |             |         |                                |
|---------|---------|---------|---------|-----|--------|-------------|-------------|--------|-------------|--------------|-------------|---------|--------------------------------|
| テミ (ク)  | テキ (リ)  | テニ (ク)  | テヒ (希灯) | シウ  | ビシ     | 短連送         | セイビ         | セイビ    | 灯 (青)       | 灯 (赤)        | 灯 (青)       | 〃 (白)   | 〃 (赤)                          |
| Q<br>S  | Q<br>N  | Q<br>W  | Q<br>E  | Z   | D      | T           | B           | (整備旗)  | X           | W            | Y           | 〃 (白)   | 〃 (赤)                          |
| 敵機南ヨリ進入 | 敵機北ヨリ進入 | 敵機西ヨリ進入 | 敵機東ヨリ進入 | 揚収終 | 大奔至急送レ | 湾外へ退避ス (セヨ) | 敵替アリ我レ掃蕩ニ向フ | 我レ救正備ス | 作業ヲ再開ス (セヨ) | 作業ヲ時中止ス (セヨ) | 作業ヲ繼續セヨ (ス) | 警告或警報解除 | 空襲警報 (同上警報解除セバ)<br>警告或警報解除 (ス) |

2193

軍機

機密第一級 海軍部隊命令作務五號  
別紙第一

行動標準

一、スラバヤ至「サバ」海峽及「サバ」海峽至「クルパン」間ニ左ノ三  
 航路ヲ設定シ、夫々第一、第二、及第三航路ト呼稱シ  
 往復ニヨリ航路呼稱ヲ変更スルコトナシ

二、各航路、主要変針点ヲ基点トシ敵情ニヨル航路  
 変更ハ各基点ヲ以テ之ヲ令スルコトアリ

三、各泊地、呼稱ヲ左ノ通トシ「〇」至「〇」ヲ各避泊地  
 呼稱トス

- ③ (マルヨ) スラバヤ
- ② (マルワ) ビンマ
- ① (マルヌ) クーパン

2194

40/60

2194

⑦ (N=11) Δトカシノ 基 点

| 位置                 | 位置  | 位置                 | 位置               |
|--------------------|-----|--------------------|------------------|
| ③ スラバヤ             | 10  | 8-56S<br>121-32E   | ニンデ島南側           |
| 1 東橋海水路7番浮標        | 11  | 8-20S<br>121-10E   |                  |
| 2 南橋海水路10番浮標       | 12  | 8-50S<br>120-35E   | フカス南側            |
| 3 ハンサン埼            | ⑧   | 7-10N              |                  |
| 4 7-15S<br>115-51E | ⑦   | ビマ                 |                  |
| 5 7-15S<br>117-32E | 13  | 7-45 S<br>118-15 E |                  |
| 6 7-42S<br>117-26E | 14  | 7-25 S<br>118-00 E | ホテルノステル北東        |
| 7 7-42S<br>119-05E |     |                    | サンゲアン島北方         |
| 8 8-46S<br>119-20E | 101 |                    | サンゲアンサウル島北側 避泊地  |
| 9 8-56S<br>120-17E | 102 |                    | フカス、トレン島         |
|                    |     |                    | 7-02S<br>115-40E |
|                    |     |                    | 8-20S<br>116-42E |

2195

2195

Jp

|     |                 |                  |     |      |                  |
|-----|-----------------|------------------|-----|------|------------------|
| 103 | スンバワ島北西ハロンジヤ島南側 | 8-28S<br>116-53E | 107 | タンガレ | 8-48S<br>120-10E |
| 104 | サハ湾             | 8-34S<br>119-03E | 108 | ムボロン | 8-50S<br>120-35E |
| 105 | サハ海峡フェド島アロンツア   | 8-37S<br>119-29E | 109 | アエレ湾 | 8-53S<br>120-47E |
| 106 | サハ海峡西側リンヤ島南側    | 8-47S<br>119-00E | 110 | インデ湾 | 8-50S<br>121-38E |

2196

2196

2196

700

航路(往航ノ1) スラバワ至サペ海峡

| 第1航路 |      |      | 第2航路 |      |      | 第3航路 |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 基点   | 通過日時 |      | 基点   | 通過日時 |      | 基点   | 通過日時 |      |
| ㊦    | X-2  | 0830 | ㊦    | X-2  | 0830 | ㊦    | X-2  | 0830 |
| 1    | X-2  | 1230 | 2    | X-2  | 1130 | 1    | X-2  | 1230 |
| 4    | X-1  | 0240 | 3    | X-2  | 1720 | 4    | X-1  | 0240 |
| 5    | X-1  | 1100 | 4    | X-1  | 0240 | 6    | X-1  | 1100 |
| 7    | X-1  | 1900 | 5    | X-1  | 1100 | 7    | X-1  | 1900 |
| 8    | X    | 0000 | 7    | X-1  | 1900 | 8    | X    | 0000 |
|      |      |      | 8    | X    | 0000 |      |      |      |

2197

2197

74  
(往航、2) サペ海峡至クーバン

| 第 1 航 路 |         | 第 2 航 路 |         | 第 3 航 路 |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 基 点     | 通 過 日 時 | 基 点     | 通 過 日 時 | 基 点     | 通 過 日 時 |
| 8       | X 0000  | 8       | X 0000  | 8       | X 0000  |
| 9       | X 0400  | (X)     | X 1900  | 9       | X 0400  |
| (X)     | X 1900  |         |         | 10      | X 0930  |
|         |         |         |         | (X)     | X 1930  |

8613

81/c

2198

276

700

(復航ノ1) クーパン至サペ海峽

| 第1航路 |          | 第2航路 |          | 第3航路 |          |
|------|----------|------|----------|------|----------|
| 基点   | 通過日時     | 基点   | 通過日時     | 基点   | 通過日時     |
| ㊗    | x 2200   | ㊗    | x 2200   | ㊗    | x 2200   |
| * 11 | x+1 0900 | * 11 | x+1 0900 | 10   | x+1 0800 |
| 12   | x+1 1230 | 8    | x+1 1730 | 9    | x+1 1315 |
| 8    | x+1 1730 |      |          | 8    | x+1 1730 |

2199

備考 \* (11) 第1第2航路共通点トシ (11)(12)(8) 航路ヲ復航第1航路トス

2199



(復航ノ2) サペ<sup>sp</sup>海峡至スラバヤ

| 第 1 航 路 |         |      | 第 2 航 路 |         |      | 第 3 航 路 |         |      |
|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|
| 基 点     | 通 過 日 時 |      | 基 点     | 通 過 日 時 |      | 基 点     | 通 過 日 時 |      |
| 8       | x+1     | 1730 | 8       | x+1     | 1730 | 8       | x+1     | 1730 |
| 7       | x+1     | 2230 | 7       | x+1     | 2230 | 7       | x+1     | 2230 |
| 5       | x+2     | 0530 | 5       | x+2     | 0530 | 6       | x+2     | 0530 |
| 4       | x+2     | 1430 | 4       | x+2     | 1430 | 4       | x+2     | 1430 |
| 1       | x+3     | 0700 | 3       | x+2     | 2000 | 1       | x+3     | 0700 |
| ㊦       | x+3     | 1100 |         | マドラ海峡仮泊 |      | ㊦       | x+3     | 1100 |
|         |         |      | ㊦       | x+3     | 1100 |         |         |      |

eg1

2200

277

005C

ジブ

(復航ノ3) サバ海峡至ビマ至スラバヤ

| 第1航路 |     |      | 第2航路 |     |      | 第3航路 |     |      |
|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|
| 基点   |     | 通過日時 | 基点   |     | 通過日時 | 基点   |     | 通過日時 |
| 8    | x+1 | 1730 | 8    | x+1 | 1730 | 8    | x+1 | 1730 |
| 7    | x+1 | 2230 | 7    | x+1 | 2230 | 7    | x+1 | 2230 |
| ㊦    | x+2 | 0200 | ㊦    | x+2 | 0200 | ㊦    | x+2 | 0200 |
|      |     |      |      |     |      |      |     |      |
| ㊦    | x+2 | 0400 | ㊦    | x+2 | 0400 | ㊦    | x+2 | 0400 |
| 14   | x+2 | 0930 | 14   | x+2 | 0930 | 13   | x+2 | 0800 |
| 4    | x+2 | 1830 | 4    | x+2 | 1830 | 4    | x+2 | 1830 |
| 1    | x+3 | 0700 | 3    | x+3 | 0400 | 1    | x+3 | 0700 |
| ㊦    | x+3 | 1100 | ㊦    | x+3 | 1100 | ㊦    | x+3 | 1100 |

10201

2201

(X)

機密第二十一特別根據地隊命令第二九號

昭和二十年二月二十四日

軍極秘

第一十一特別根據地隊司令部 田中 菊松

日印十月十日

第二十一特別根據地隊命令

各委員等、當該地自給自戰對策委員會、在、建設  
 共二第二、自給自戰對策委員會、委員、長、二、所、男、ノ

|          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 小委員<br>會 | 第三警備司令部  | 小委員<br>會 | 海軍武官     | 陸軍武官     |
| 其ノ他委員長所定 | 其ノ他委員長所定 | 其ノ他委員長所定 | 其ノ他委員長所定 | 其ノ他委員長所定 |
| 甲區       | 辛區       | 戊區       |          |          |

278

(終)

原稿不鮮明

2202

279

軍極秘

機密第一警備部隊命令作第六號  
昭和二十年二月二十五日

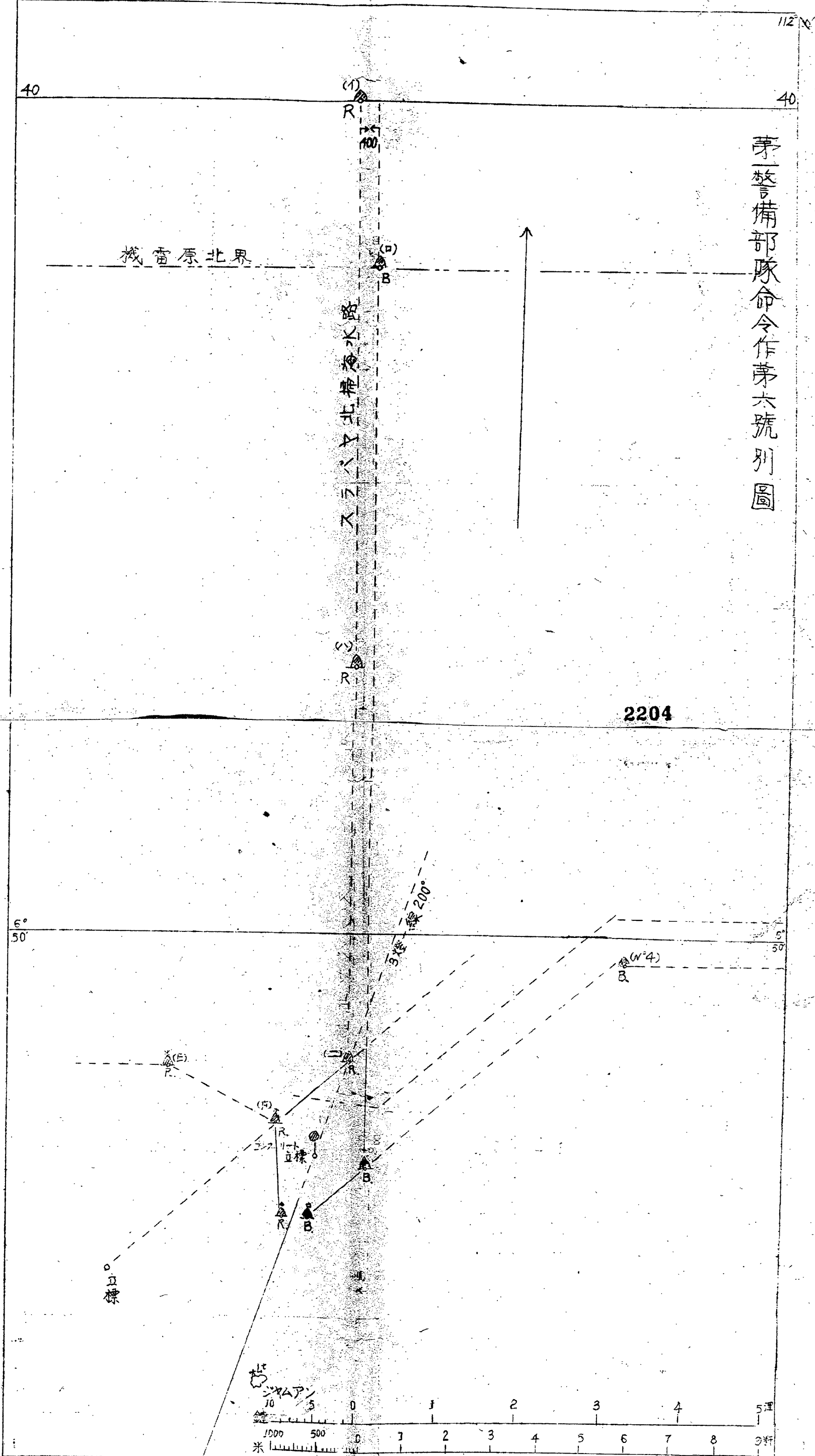
第一警備部隊指揮官 田中 菊松

第一警備部隊命令

一 敵ハ開夜一スヲバヤル港各掃海水路ニ磁氣探雷ヲ敷設シ「スヲバヤ」  
 二 東港警備部隊ハ左ニヨリ速ニ「スヲバヤ」北掃海水路ヲ啓開スベシ  
 イ、掃海部

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 指揮官   | 第一港務部 | 力      |
| 重港警備部 | 水     | 木造大發五隻 |
| 指揮官   | 警備部   |        |
|       | 第一警備部 |        |

別圖ノ通トシ掃海完了後速ニ圖示ノ通航路浮標ヲ設置スベシ  
 本掃海水路ヲ「スヲバヤ」北掃海水路ト呼稱ス  
 三 掃海完了後速ニ掃海水路圖ヲ作製提出スベシ  
 (終)



第一警備部隊命令作第6號別圖

2204

281

Handwritten signature or scribble in the center of the grid.

2205